



The service club to the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町
 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2023年4月会報 第412号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP)

Ulik Lauridsen (デンマーク)

主 題 「輝かそう、あなたの光を」 'Let your Light Shine'

スローガン 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation

アジア太平洋地域会長(AP) Shen Chi-Ming (台湾)

主 題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era

スローガン 「今すぐ実行を」 Doing It Right Now

西日本区理事(RD) 田上正(熊本むさし)

主 題 「原点を知り将来に生かす」 Know the origin and utilize it in the future!

スローガン 「立ち上がれワイズモットーと共に！」 Stand up Y's Men with our Motto!

六甲部長 若林成幸(宝塚)

主 題 困難な時にこそYMCAと共に進もう

宝塚クラブ会長 小林康男

主 題 みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福

今月のテーマ RBM(ロールバック マラリア)

世界マラリアデー(25日)・1人1人の暖かい支援で
 国際的予防戦略にご支援をお願いします。

地域奉仕・環境事業主任 伊藤文訓(長浜クラブ)

2022年4月例会(ハイブリッド)

日 時 : 2023年4月12日(水)18:30

場 所 : 宝塚西公民館

会 費 : 1500円

ドライバー 群家学 石田由美子

開会点鐘 小林康男会長

ワイズソング 全員

聖書朗読・祈祷 福田 宏子

ゲスト・ビジター紹介 会 長

会 食

お 話

能楽観世流 上田宜照 様

「今、文化が社会にできる事」

各委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 会 長

ニコニコファンド

閉会点鐘 小林康男会長

2022~2023 役員	会長 小林康男
	副会長 郡家 学
役員	書記 福田宏子
	会計 郡家 学
	会計監査 吉田 明 加藤光信
	担当主事 橋本 唯
	メネット連絡 小林貴美子
	直前会長 福田宏子
	石原美生子(24)
3月 誕生日	
3 月 実 績	例会出席者数 19名(ズーム0名) 在籍会員数 20名 出席会員数 11名(ズーム0名) 出席率 55% メイクアップ(内数) 1名 メネット・コメント・孫メット 2名(ズーム0名) ゲスト・ビジター 3名(ズーム0名) 例会充足率 95% アソシエイト会員 2名(ズーム0名)
	ここにこBOX 2,000円 累 計 52,510円 ファンド(豚 肉,他) 11,800円 累 計 12,880円 (真菰茶) 28,000円 累 計 108,300円 ファンド合計 173,690円

聖句

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」

新約聖書・I テサロニケ5章16-18a 節

随想

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」。
私はこの個所を読む時に、第二次世界大戦下、アウシュヴィッツ強制収容所の中で
コルベ神父の身代わりによって助けられたガヨヴィニチェックさんを思い出します。
アウシュヴィッツで、ある時、囚人の中から逃亡者が出ました。捕まえることができなかったので、
見せしめとして 10 人の囚人を餓死室に送り、食べ物や水を一切与えないで殺してしまうという
ことにしました。その中の一人にガヨヴィニチェックさんも指名されたのでした。
彼は叫びました。「ああ、私には妻と子どもがいるんだ。なんてこった」。
その時、囚人番号 16670 番のコルベ神父が進み出て言いました。「私は運ばれた人のうち
一人の代わりに行くことを望みます。彼は奥さんと子どもがいる。私はカトリック司祭で独身です」。
神父は驚いているナチス親衛隊員や仲間の囚人たちと別れて、他の 9 人と共に地下牢に
入っていきました。そして、パンも水一滴も与えられない地獄のような苦しみに悶えながら死んでい
きました。

その後、ガヨヴィニチェックさんはことあるごとにコルベ神父が私の身代わりになって
死んでくださったというその犠牲大きな愛について語り続けました。

彼が、一生の間ずっと心残りとなっていることが一つあったそうです。それはあの時、
「ジンクーエン」(「ありがとう」の意味)と神父に言えなかったことでした。

パウロもそうだったのではないのでしょうか。彼はダマスコ途上で復活のイエスに出会った時、
衝撃がとても大きくて何も言うことができませんでした。

そんな彼にも心残りがあるとすれば、それはあの時、主イエスに感謝することができなかったことだと
思います。本当に感謝すべき思いは、後になってしみじみと心の中いっぱい滲み出てくる
ものです。そして、ガヨヴィニチェックさんもパウロも、主イエスに向かって「ありがとう」と言いた
いために、その後の人生を歩み通したのだと思います。

そして今、私たちもその轍を歩んでいます。私に命をくださり、主イエス・キリストの贖いに
よって救わってくださり、さらに、生きていくための道標を示してくださった神様に
「ありがとう」という言葉を伝えるために、今を、そして 2023 年度もしっかりと生きていきたいです。

浦上結慈

3月例会報告

3月例会のゲストスピーカーは、宝塚教会員でもある福井稔氏をお迎えし、長年にわたる「宝塚宗教者・市民・平和会議」との彼の関わりについてお話を伺った。

1942年生まれ、関学理学部から静岡大学大学院、フジテック入社、退職後に佃牧師に誘われ、かかわった平和会議は今年で15年目を迎え会員は160名、様々な講演会や、ニューズレターの発行などを事務局長として支え、本当のことを学び、本質を知ることの大切さを痛感してきたという。異なる背景を持つ宗教者から多くを学び、その出会いをどうし、平和を構築することがいかに困難で、大切かを実感している、特に憲法を守ることの大切さや関学高等部の山本善偉先生から真実を知れば反対しなければならないということ学んだ。また、中畠哲演住職との出会いはこの運動を支える原動力になっているという。老朽化した原発再稼働反対や、軍事力に頼る、外交が進められており、平和への取り組みの大切さ、困難さを感じている。また、アウシュビッツ訪問した時に西ドイツ政府と日本の取り組みの違いを実感、傍観者になってはいけないという思いに駆られた。

また、宝塚市前市長の中川ともこ氏と歩む会で12年間、事務局をささえ、現市長の選出にも共に力を注いだ。多様性を認め、人ひとりが輝く社会をめざす運動に長年かかわっているが今さらにその大切さを実感しているという。5月に35周年を迎える宝塚ワイズの記念行事の、「子供たちの平和な未来を考える」も後援していただくことになっている。

武田寿子

3月第2例会報告

2023年3月第2例会

報告

日時:2023年3月15日(水)13:00~15:00

場所:宝塚西公民館

出席者:石田、郡家、小林、武田、多胡、長尾、若林

議題

1. 例会の運営

- 4月例会 4月12日(水)18:30~ 宝塚西公民館
能楽観世流 上田宜照氏 「今、文化が社会にできる事」
- 35周年記念例会 5月21日(日) ソリオホール 14:00~
「子供たちの平和な未来を考える」
 - ① 講演 弓狩匡純氏

② ミュージカル 「I PRAY」 木原世宥子氏

2. 各事業報告

1. 西日本区・六甲部:

- ・六甲部評議会および懇親会 3月18日(土) 14:30～

現在参加予定人数が定足数に満たないため、参加人数の少ないクラブに再度参加を促す。
宝塚クラブは予定8名+1名追加とする。

- ・西日本区大会 6月11日(土)・12日(日) 熊本市

参加申込済 石田、小林夫妻、多胡、長尾、若林、福田宏子

3月末までに登録すると早期割引がありますので、まだの方は早めに申し込み下さい。

- ・東日本区大会 6月4日(土)・5日(日) 甲府市 参加予定なし
- ・100周年記念植樹祭 2月23日 10:30～ 神戸市東遊園地芝生広場にて実施
- ・次期会長研修報告 3月11日・12日 実施 石田対面での参加 約60名参加

2. 国際・交流

- ・神戸ポートクラブ チャリティーコンサート 4月22日(土)14:00～

神戸聖愛教会 チケット10枚(協力金1口 1,000円) 希望者は小林康男まで

3. 地域奉仕・環境

- ・国際交流協会 懇話会 3月4日(土)14:00～ 小林出席

NGO展 3月11日(土)・12日(日)真菰茶 売上13,000円

- ・はんしん自立の家 希望の凧およびピアノコンサート 3月4日(土)

凧あげ 約30名参加、コンサート 約50人参加

3. プリテン(長尾):

原稿締め切り 3月27日必着でお願いします。遅れた分は翌月に記載。

4. YMCA 報告(橋本):

5. その他

- ・鹿児島クラブよりホワイトデーのプレゼントあり、次回例会で配布
- ・トルコ・シリア地震支援募金 西日本区を通じて募金する。

クラブとして、目標額5万円を例会等で個人募金をお願いする。

ゲストスピーカープロフィール

上田宜照(うえだよしてる)



昭和 63 年 5 月 28 日 上田拓司の長男として生まれる。父・上田拓司、伯父・上田貴弘に師事。

平成 2 年 8 月 19 日 初舞台。

平成 28 年 6 月 ルーマニア「シビウ演劇祭」に参加

平成 28 年 10 月 ベルギー国王フィリップ陛下御観覧の公演に参加

その他スロバキア、アルバニア、ブルガリアなどの多数の能楽海外公演に参加。

TIFA 法人・団体会員懇話会に参加して

令和 5 年 3 月 4 日(土) 14:00より、宝塚市立国際文化センター・ギャラリーにおいて、TIFA 法人・団体会員懇話会が開催されました。

今回は新しい試みとして、法人・団体会員の紹介がスライド上映で行われました。1 団体あたり 3 ページ 1 分足らずの紹介ではありましたが、それぞれの団体が各自で作成されたものであり、どのような活動をされているのかがよくわかりました。

TIFA の活動もスライドで組織や委員会ごとの活動状況の詳しい説明があり、よく理解できました。

続いて今年 1 月宝塚南口駅高架下に新しくできた「宝塚大学 宝塚南口サテライトキャンパス」内にオープンしたシニア向けの「宝塚ウェルネスアカデミー」の紹介スピーチと開設 20 年を迎えた「エフエム宝塚」のスピーチがありました。震災後に地域の情報発信基地として開設された地域の FM ラジオ局がインターネットの普及等により継続が難しくなっているところもあるようですが、「エフエム宝塚」は宝塚ワイズメンズクラブも度々お世話になっていることでもあり、是非とも存続して欲しいものです。

休憩を挟んで、アトラクションとして、珍しい「スティールパン」の演奏があり、盛り上がったところで懇話会が始まりました。

私は今回初めて懇話会に参加させていただきましたが、今後とも機会がありましたら、皆様と交流させていただきたいと思います。

会長 小林康男

揚がれ！希望の凧！

東日本大震災、津波、放射能の被災地支援として毎年開催してきた希望の凧揚げ！
今年はウクライナの戦禍、トルコ、シリアの大震災での被災地の渦中にある人々を覚えても加わり、より高い大空に凧揚げをと願って3月4日(土)午後2時から開催した。



毎年協力、共催をしてくださっているはんしん自立の家の入居者の方々、そして武庫川がっこうのメンバーと今年も一緒に開催することができた。

教材用として作られたビニール凧を神戸ポートクラブの大野勉ワイズの協力を得て50個の凧を購入し、午前中にその凧の絵付けを行った。午後2時から自立の家の前のムコニャン広場で子ども、大人も約30人が一緒に青く澄んだ空に見えなくなるくらい高く高く舞い上がった凧に歓声があがった。大空へ各被災地に私たちの寄り添いの気持ちが届き、平和の実現、そして被災地の復興が1日も早く実現しますようにとの祈りを込めて今年も開催できたことはとても嬉しかった。

自立の家の入居者の方々は ZOOM 配信で一緒に室内から声援を送って下さった。

2時45分からは自立の家の室内で、入居者の方々を中心に約50人が集まり、震災の絵本の購読に耳を傾け、石田由美子ワイズの指導のもと花は咲くのフラをみんなで踊り、中村徹さんによる素晴らしいピアノコンサートが開催された。そのプログラムは一同の心を捉え、ともに室内からも祈りを込めて各被災地の方々へ寄り添いの気持ちが今年も届いたのではと確信しています。



CS 担当 多胡葉子

宝塚 NGO 展

毎年開催されていた NGO 展もコロナ禍のために 3 年振りの開催となった。宝塚市立国際文化センター (TIFA) に登録している NGO 団体の活動紹介展である。



今年は少し内容に変化がみられた。というのは今までは NGO ばかりの紹介展であり、その数も随分多かったように記憶していたが、やはりコロナ禍の影響か。今年の参加団体は我がクラブを含めて五団体になっていた。しかし、本来の国際交流センターの働きの紹介が加わっていた。

まず TIFA の委員会活動がパワーポイントで次々と紹介された。それから NGO 活動団体がやはりパワーポイントで紹介。持ち時間を 5 分と制限された中での活動紹介は映像を次々に流すことで終わる紹介だった。宝塚クラブは長尾ワイズとアソシエイトの片西さん作成のクラブの紹介をパワーポイントで 11 日は多胡ワイズ、12 日は武田ワイズが職責を果たした。これらの各団体、委員会のパワーポイントを使っ

ての紹介は改めて活動の様子がよくわかりいい企画だったと思う。

ギャラリーでは 11 日はパラグアイハーブ演奏、12 日は北インドの古典舞踊が披露され豊かな素晴らしい時が与えられた。

今回の活動展は改めてワイズ活動と地域で活動している国際交流の諸団体との良い交流の場になり、相互の活動の輪が広がっていけばと思われた。



多胡葉子



【YMCA ニュース】

2月22日からレント(受難節、大斎節、四旬節)に入っており、イースター(復活祭)への歩みが始まっています。ミッション委員会では実施ありきではなく、礼拝の意義についても根本的に協議を重ね、今年には三宮開館チャペルでリアル開催とします。

【イースター早天礼拝】

日時: 4月9日(日) 午前7時~8時

会場: 神戸 YMCA 三宮開館チャペル

メッセージ: 水野宏明さん(神戸 YMCA 職員、ミッション委員会担当主事)

連絡担当 橋本 唯

編集後記

3月18日 第二回六甲部評議会が有りました。今期宝塚クラブから部長を出しています。コロナ禍でZOOM会議であったり、ハイブリッドで行われました。しかし、今回はリアルでおこなわれました。

そして、評議会後、懇親会で久しぶりに六甲部のワイズの顔を見ながら活動、情報の交換が出来ました。



ブリテン 長尾 亘